

令和6年度 事業報告

(社福)長野県知的障害者育成会

I 法 人

社会福祉法人長野県知的障害者育成会は、公益を大切にする民間法人として、長野県手をつなぐ育成会と協働して、長野県における知的障害者の福利厚生を増進するための実践の場として、県下にネットワーク形成を図りながら、事業を推進しました。

法人の基本理念「誰もが笑顔で輝く共生社会の創造に貢献します。」に基づき事業を推進しました。

1 会議の開催

事業計画、予算、決算、諸規程などの重要事項について審議するため、また、運営全般について意見交換するため、次の会議を開催しました。

(1) 評議員会

	開催日	特記事項
定時評議員会	令和6年 6月19日	事業報告及び計算書類 理事の選任（欠員補充）

(2) 理事会

- ・ 評議員会で審議する計算書類等及び事業報告を検討しました。
- ・ 予算、事業計画を審議しました。
- ・ サービス費報酬改定、緊急支出等に対応するため、3回の補正予算を審議しました。
- ・ 規程類等の改正・改定を審議しました。

	開催日	特記事項
第1回	令和6年 5月23日	給与規程の一部改正 理事候補者の推薦（欠員補充）
第2回	令和6年 6月19日	理事長、副理事長、常務理事の互選等
第3回	令和6年 11月28日	感染症・食中毒の予防・まん延防止に関する規程の改定 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正
第4回	令和7年 3月27日	令和7年度事業計画・予算 給与規程改定、事業所長選任 評議員選任・解任委員の選任（欠員補充） 評議員候補者の推薦

(3) 経営委員会

- ・ 理事会で審議する予算・事業計画、計算書類等・事業報告を調製しました。
- ・ 理事会で審議する規程類等を調製しました。
- ・ 四半期ごとに運営状況、収支状況を確認し、適時、補正予算を調製しました。

	開催日	特記事項
第1回	令和6年 4月25日	事業報告、決算報告
第2回	令和6年 7月23日	第2次中期計画の進捗管理 感染対策委員会の在り方
第3回	令和6年 10月25日	事業計画、事業報告の構成の見直し
第4回	令和7年 1月23日	令和7年度新規事業・職員採用計画 令和7年度事業計画 給与規程の改定
第5回	令和7年 3月13日	第4回理事会提出議案

(4) 施設長会議

- 事業所運営上の課題等について検討・意見交換しました。

	開催日	特記事項
第1回	令和6年 6月27日	障害福祉サービス費の請求漏れ
第2回	令和6年 8月22日	感染症対策委員会の運営、第2次中期計画の進捗
第3回	令和6年 11月14日	実地指導結果、感染対策委員会実施上の課題
第4回	令和7年 2月19日	令和7年度予算

(5) 虐待防止、身体拘束適正化検討委員会

- 虐待防止委員会、身体拘束適正化検討委員会は、理事長を委員長とし、法人全体で課題に取り組みました。
- 身体拘束等適正化担当者を選任（虐待防止担当者兼務）
- 各事業所での不適切事案などの状況について対応を検討しました。なお、虐待事案等はありませんでした。

	開催日	特記事項
第1回	令和6年 8月22日	研修計画、身体拘束適正化担当者の配置
第2回	令和7年 2月19日	虐待が疑われる事案について意見交換
研修	令和6年 12月13日	テーマ：「虐待未然防止、身体拘束等適正化の推進、看護・介護の論理、人権に関する知識」 講師：相沢病院 高橋香代子氏 場所：ドリームワークス+Zoom

2 経営

(1) 安定した経営の確立

- 本部事務長、事業所長の退職にあたり、適切な人材を確保し、法人・施設運営を円滑に移行しました。また、必要な職員数を確保しました。
- 報酬改定に対応し、収入の確保に努めました。また、福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金を受け入れました。これらにより、サービス事業活動収益は前年度比109.5%となりました。
- 人件費は最低賃金の改定もあり増加しましたが、経費削減に努め、サービス活動費用は前年度比104.2%となりました。
- この結果、当期活動増減差額は前年度の4,488千円余の赤字から5,508千円余の黒字となり、法人全体では、経営の安全性・継続性を確保することができました。

(2) 経営課題

- 利用者の平均工賃の向上
- 収益性が低く赤字体質の事業所への対応
- 職員の確保・定着のための魅力的な職場づくり
- 松本市、飯田市、小諸市の県下5か所に事業所が分散している中で、それぞれ特徴を活かし事業に取り組む中で、法人としての一体性の確保と総合力の発揮

3 施設・設備整備

(円)

事業所名	内 容	金 額	備 考
本 部	パソコン	264,880	OS サポート切れ更新
ド リ ー ム ワ ー ク ス	ログハウス改修	839,000	
	エアコン	529,320	経年劣化
	パソコン	365,200	OS サポート切れ更新
	IH クッキングヒーター	217,030	経年劣化
	複写機	487,650	リースから買取に変更
エルサポート パ ノ ラ マ	車両 (送迎用)	1,100,000	事故に伴う更新
	給湯器	187,550	経年劣化更新
	風呂給湯器	339,361	経年劣化更新
小 諸 み か げ	車両	890,000	計画相談支援事業拡大
合 計		5,219,991	

4 職員の状況

(人)

事業所名	退職者数	採用者数	増減数	職員数	退職者の職種
法 人 全 体	14	16	2	80	
本 部	1	1	0	2	事務長
ド リ ー ム	5	6	1	18	生活支援員
パ ノ ラ マ	3	2	0	22	世話人
小 諸 み か げ	1	3	2	9	計画相談支援員
エ ル サ ポ ー ト	3	3	0	20	施設長、職業指導員
企 業 セ ン タ ー	2	1	-1	9	事務員

II ドリームワークス

- 生活介護事業では、1日当たりの平均利用人数が18.6人、就労継続支援B型事業では1日当たりの平均利用人数が6.6人となり、過誤調整なく年間を通して概ね安定して開所することができました。
- 生活介護事業の利用者1名が3年近く継続通所できておらず6月に退所となりました。
- 就労継続支援B型事業の利用者1名が就職により退所しました。また、工賃アップが今後の課題として残りました。
- 12月に、コロナ感染者が増え、就労継続支援B型事業を3日間閉所しました。
- 一人ひとりの障がい特性から、毎日の生活が穏やかで豊かに過ごせるようチームで検討し支援を提供することができました。

1 提供したサービス

(1) 生活介護事業、就労継続支援B型事業

ア 介護

- 障害者の特性に寄り添い、楽しく安心して過ごせる環境づくりに取り組みました。
- 地域で活動することで豊かで充実した毎日を送れるよう支援しました。
- 体重/血圧測定、通院支援（適時）、投薬管理、リハビリ、歯磨き指導を日常的に行いました。
- 処遇向上に向け積極的に各種研修に参加しました。

長野県知的障がい福祉協会：強度行動障害支援者養成研修（2名）、関東ブロック大会長野大会（3名）、協会自閉症セミナー（3名）
 野澤和弘氏「虐待防止・身体拘束研修」（市内七法人合同研修）
 川西大吾氏「自閉症スペクトラム障がいの基礎理解」6回
 又村あおい氏「法改正・報酬改定で本人や家族が注意すべきこと」
 片山真人氏（松本山雅）「サッカー型チーム力とアンガーマネジメント」

イ 生産活動

<作業内容>

区分	作業内容	備考
工芸品	ダイヤモンドビーズ	作成・販売
菓子食品	クッキー製造・販売 コーヒー販売 焼芋販売	松本山雅ホームゲームにあわせ、神林ハウスにて神林商工会と販売 東京銀座ながの、喫茶山雅、浅間温泉わいわい広場、清流の里、アルプス市場に納品
農作業	あやみどり大豆栽培 (種まき、収穫、販売)	スマイル山雅農業プロジェクトに参加し、松本山雅サポーター、神林町会連合会、松本山雅FCの皆さんと実施
廃品回収	古紙・アルミ缶	利用者がやりがいを持って、毎日、活動に参加

<作業収入及び工賃>

区分	収入金額	1人当たりの平均工賃月額
自主製品（工芸品）	16,350円	○就労継続B型（7名） 8,427円（前年度比111.9%）
自主製品（菓子食品）	1,125,608円	
受託作業（農作業）	100,969円	
受託作業（廃品回収）	446,979円	○生活介護（5名）
合計	1,689,906円	

ウ その他

- ・ ビーズ（ワークシステム）、音楽リトミック、パソコン(ブログ等)、絵画、アート・音楽活動（すみあそび、音あそび、色あそび）、自立課題に取り組みました。（療育的活動）
- ・ 花見、紅葉狩り、日帰り旅行4回、クリスマス会、成人のお祝い会を行いました。
- ・ 松本山雅歩くサッカー教室に年3回参加しました。
- ・ 利用者19名を送迎しました。（松本市内方面(東)、松本安曇方面(西)）
- ・ 市内同一法人事業所エルサポートパノラマと連携して事業を進めました。

(2) 計画相談支援事業

- ・ 令和6年9月1日より再指定を受けました。
- ・ 松本市基幹センター、松本市内保育園と連携し業務を行いました。

<計画相談支援実績>

計 画 相 談	19件	9月から3月までの実績
モ ニ タ リ ン グ	25件	9月から3月までの実績

2 運営管理

(1) 業務継続計画

研 修	① 1月7日 ～27日 ② 1月28日 ③ 3月19日	①「コロナ禍の振り返りと感染予防の基本について」(動画視聴) ②「感染症の基本」 ③コロナ、インフルエンザで学んだこと 感染症予防で大切なこと
訓 練	3月20日	正しい手洗いの仕方、嘔吐物処理の仕方など

(2) 身体拘束等の禁止

身体拘束事案	なし	
--------	----	--

※委員会、全体研修は法人で実施

(3) 秘密保持

秘密漏洩	なし	
------	----	--

(4) 苦情解決

苦情処理	なし	
------	----	--

(5) 事故発生時の対応

事 故	1件	散歩中に利用者が転倒（頭部打撲の疑い）
インシデント	なし	

(6) 虐待防止

虐待事案	なし	
------	----	--

※委員会、全体研修は法人で実施

(7) 非常災害対策

- ・ (株)セコムと業務契約を締結し、防災体制を強化しています。
- ・ 松本市より福祉避難所の指定を受けています。

第 1 回	10月16日	火災を想定し、通報、消火、避難訓練を神林消防署立会で実施
第 2 回	3月21日	火災を想定し、通報、消火、避難訓練を実施

(8) 地域との連携

行政機関等	松本市、安曇野市、塩尻市、朝日村、山形村、松本保健福祉事務所、神林公民館
福祉施設	○入所施設：アイアドバンス今井、共立学舎、アルプス学園、四賀アイアイ ○通所施設：コムハウス、第二コムハウス、パノラマ他 ○居宅介護事業所：結いの街、らいふあしすと(西)、CoCo、みらい ○相談支援センター：松本市基幹相談センター
医療機関	あかはね内科・神経内科医院、こども病院、村井病院他
教育機関	松本養護学校、寿台養護学校、信州大学看護学部
ボランティア他	ながのアートミーティング（お菓子づくり、パソコン操作、すみあそび、音あそび）
その他	神林商工会、松本山雅を応援する会神林地区、長野県セルフセンター、長野県知的障がい福祉協会、イオンクレジット(株)

(9) 健康管理

予防接種	インフルエンザ予防接種	希望者・職員（任意接種）
健康診断	嘱託医療機関	利用者（任意接種）

(10) 衛生管理等

<発生状況>

感染症	7人	新型コロナ：利用者6名職員1名
食中毒	なし	

<委員会・研修・訓練実施状況>

感染症・食中毒対策委員会	6月、8月 12月、3月	感染症等の発生状況を踏まえ対応を検討
研修	12月	感染症について厚生労働省の動画を視聴
訓練	3月	事業所のできる予防対策を検討・実施

資 料

令和7年3月31日現在

<利用者の状況>

1 年齢別数 (人)

事業名	性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
生活介護	男		5	7	3				15
	女		4	7					11
	計		9	14	3				26
就労継続支援B型	男		4	2					6
	女		1						1
	計		5	2					7
合計	男		9	9	3				21
	女		5	7					12
	計		14	16	3				33

2 障害者別数 (人)

事業名	知的	身体	精神	視覚	聴覚	合計
生活介護	26	(8)				26
就労継続支援B型	7	(1)				7
合計	33	(9)				33

注) 括弧内は知的と重複

3 支援区分別人数 (人)

事業名	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
生活介護				7	9	10	26
就労継続支援B型				3			3
合計				10	9	10	29

<職員の状況>

職種別数 (人)

事業名	管理者	サービス 管理者 責任者	生活 支援員	職業 指導員	相談 支援 専門員	看護師	送迎員 事務員	合計
生活介護	(1)	(1)	13			1		14(2)
就労継続支援B型	(1)	(1)	1	1		—		2(2)
計画相談支援	(1)				(1)			(2)
合計	1	1	14	1	(1)	1		18

注) 括弧内は兼務者で外数

Ⅲ エルサポートパノラマ

- 就労継続支援B型事業では、1日当たりの平均利用人数が19.7人と前年度を1.6人下回ったことから、訓練等給付費収入が減収となり、赤字の要因となりました。
- 利用人数については、年度当初から体調不良による退所者や長期に渡る通所困難者があったことが主因で、年度後半には3人の新規入所者があったものの、年間を通じては減少となりました。
- 一方で、就労支援事業収入が増収となり、1人当たりの平均工賃月額が目標とした18,200円を大幅に上回る20,281円となりました。
- 新型コロナウイルス感染症については、集中して感染者が出た4月に通所自粛日を1日設けて感染拡大防止措置を取りましたが、12月、2月にはインフルエンザの感染も含めて、感染者の療養のみで対応し、感染拡大や重症化を招くこともありませんでした。

1 提供したサービス

(1) 就労継続支援B型事業

- 清掃、廃品回収、喫茶、菓子の売上がいずれも増加し、平均工賃月額は前述のとおり2万円超えを達成しました。

ア 生産活動

<作業内容>

区 分	作 業 内 容	備 考
清 掃	松本市中央図書館館外 長野県松本合同庁舎	当事業所の中核的業務 中央図書館は毎日、合庁は週1日
喫 茶	松本市中央図書館3階 喫茶パノラマの営業	当事業所の中核的業務 接客を通じての社会的マナーの習得
廃 品 回 収	古紙、古本、段ボール、 空き缶、空き瓶等の回収・リサイクル	当事業所の中核的業務 2所の回収ステーション及び法人・個人宅からの回収、並びに、分別・納品等
加 工	各種請負作業	J3松本山雅のホーム戦配布チラシの封入 日本郵便ゆうメールの配達 ほか
菓 子 食 品	クッキーの製造販売	販売会・喫茶等での販売
工 芸 品	木工製品の製造販売	販売会での販売

<作業収入及び工賃>

区 分	収 入 金 額	1人当たりの平均工賃月額
受託作業（清掃）	2,130,825円	20,281円（前年度比 116.3%）
受託作業（喫茶）	1,526,140円	
受託作業（廃品回収）	1,523,667円	
受託作業（加工）	457,640円	
自主製品販売（菓子食品）	280,500円	
自主製品販売（工芸品）	33,250円	
合 計	5,952,022円	

イ その他

- 毎月開催するメンバー会の企画運営には利用者にも加わってもらい、利用者の要望を踏まえた交流の機会としました。

(2) 共同生活援助事業

- ・ パノパノ及びポノの2カ所のグループホームの運営を通じ、相談、入浴、食事、その他の日常生活上の援助を行い、地域の中での自立した生活を支援しました。

2 運営管理

(1) 業務継続計画

研 修	9月25日 27日	自然災害編の内容確認等（世話人会） 自然災害編の内容確認等（職員会）
訓 練	11月20日 22日	感染症編の机上訓練（世話人会） 感染症編の机上訓練（職員会）

(2) 身体拘束等の禁止

身体拘束事案	なし	
--------	----	--

※委員会、研修は法人全体で実施

(3) 秘密保持等

秘密漏洩	なし	就業規則の守秘義務に加え、職員採用時に誓約書を徴取するとともに個人情報保護規程により適正の個人情報を管理
------	----	--

(4) 苦情解決

苦情処理	2件	・GH利用者への対応に関する苦情（利用者） ・GH利用者への対応に関する苦情（保護者）
------	----	--

(5) 事故発生時の対応

事故	1件	・利用者転倒事故 1件
----	----	-------------

(6) 虐待防止

虐待事案	なし	
研 修	5回	9～10月（世話人会、職員会、サビ管）

※委員会、全体研修は法人で実施

(7) 非常災害対策

第1回	8月10日	趣旨説明・シェイクアウト訓練・講評（パノパノ） 趣旨説明・シェイクアウト訓練・講評（ポノ）
第2回	3月11日	趣旨説明・シェイクアウト訓練・講評（パノラマ）

(8) 地域との連携

城北地区福祉ひろば	パノラマ祭、ひろば祭、クリスマス会での交流
販 売 会	入山辺地区福祉ひろば、エクセラン高校文化祭、合同庁舎（2回）、城北地区ふれ愛まつり、育成会県大会、白板地区マルシェ、国宝の架け橋リビング

(9) 健康管理

予 防 接 種	12月	グループホーム利用者
健 康 診 断	11月	B型利用者

(10) 衛生管理等

<発生状況>

感 染 症	16人	新型コロナ 4月 利用者1名、職員4名 12月 利用者1名、職員1名 2月 利用者1名、職員2名 インフルエンザ 12月 利用者3名、職員3名
-------	-----	--

食 中 毒	なし	
<委員会・研修・訓練実施状況>		
感染症・食中毒 対策委員会	12月25日	12月に発生した2グループホームでの感染症の対応経過の確認（世話人会）
	27日	12月に発生した2グループホームでの感染症の対応経過の確認（職員会）
研 修	11月20日	インフルエンザの感染を防ぐポイント（世話人会）
	22日	インフルエンザの感染を防ぐポイント（職員会）
	27日	食中毒の予防（職員会）
	1月22日	食中毒の予防（世話人会）

(11) その他

- 就労継続支援B型**事業**の指定更新を受けました。（令和7年4月1日～13年3月31日）
- 共同生活援助の現地指導がありましたが、特に改善が必要な指摘事項はありませんでした。（口頭による指示事項はあり）
- **追突事故被害による車両廃車**に伴い、車両1台（中古）を購入しました。

資 料

令和7年3月31日現在

<利用者の状況>

1 年齢別数 (人)

事業名	性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 ~	合計
就労継続支援B型	男		4	4	4	2	4		18
	女			3	2	3	2		10
	計		4	7	6	5	6		28
共同生活援助	男			2	3	2			7
	女			2		1	1		4
	計			4	3	3	1		11
合計	男		4	6	7	4	4		25
	女			5	2	4	3		14
	計		4	11	9	8	7		39

2 障害別数 (人)

事業名	知的	身体	精神	視覚	聴覚	合計
就労継続支援B型	19	3	6			28
共同生活援助	9		2			11
合計	28	3	8			39

3 認定区分別人数 (人)

事業名	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
就労継続支援B型	2	4	4	4	3		17
共同生活援助	1	1	3	3	3		11
合計	3	5	7	7	6		28

<職員の状況>

職種別数 (人)

事業名	管理者	サービス 管理者 責任者	目標工賃 達成 指導員	職業 訓練 指導員	生活 支援員	世話人	合計
就労継続支援B型	(1)	1	1	1	6(3)		9(4)
共同生活援助	(1)	1				8(3)	9(4)
合計	1	2	1	1	6(3)	8(3)	22

注) 括弧内は兼務者数で外数

IV 小諸みかげ

- 生活支援事業では、利用者の支援区分変更が主たる要因となって1日当たりの平均利用人数が8.32人と前年度を0.4人下回ったものの、令和6年4月の報酬改定で報酬単価が上がったことによって444千円の増収となりました。
- 就労継続支援B型事業では、利用者の病欠が主たる要因となって1日当たりの平均利用人数が10.2人と前年度を0.6人下回ったものの、令和6年4月の報酬改定で報酬単価が上がったことと受託作業収益が増大したことによって3,510千円の増収となりました。
- 計画相談支援事業において、事業を止める近隣の法人から利用者・職員の移管を受け、計画相談件数が85件と前年度を65件上回り、モニタリング件数も255件と前年度を195件上回ったことによって3,961千円の増収と事業の黒字化を実現しました。

1 提供したサービス

(1) 生活介護事業

ア 介護

- 利用者の希望を尊重しつつ、障害の態様・程度を考慮し必要な身体介護、行動援助、精神的ケア等サービスを提供しました。
- 日常生活支援が必要な利用者には、身体的介護・介助や精神不調時のメンタルケア、不安定時のパニック対応等について職員間の連携を強化しました。加えて、重度身障者（車椅子使用者）には、担当医からの指示による機能訓練等を継続しました。
- 音楽療育活動、運動療法活動、レクリエーション活動などに加えて、ITC（タブレット、ノートPC）活用し、多様な日中活動を実現しました。
- 絵画、工作、音楽等の創作的活動やビーズ等を用いた手指訓練を行いました。
- バイタルチェック、運動・音楽療育活動、機能訓練等より健康を維持・増進し、また、外出レク、販売活動(休止中)などにより生き甲斐をもって様々な活動を楽しめるよう支援しました。
- 当事業所の「職員研修計画」に基づき、障害福祉サービスの内部研修を行い、また、職員個々のスキルアップのため、外部の新人研修(1名)、スキルアップ研修(2名)に参加しました。

イ 生産活動

<作業内容>

区 分	作 業 内 容	備 考
加 工	紙器・段ボール製品加工、菓子箱折作業、漬物製品ラベル貼	受注量が増え増収
工 芸 品	袋類・ティッシュカバー等縫製品、爪楊枝立て、キーホルダースタンド等木工品、オリジナルカレンダー等紙加工品、動物キーホルダー、ストラップ等	本年度は販売活動を取り止め、自主制作品は休止

<作業収入及び工賃>

区 分	収 入 金 額	1人当たりの平均工賃月額
自主製品（工芸品）	- 円	
受託作業（加工）	197,086 円	1,825 円（前年度比 145.9%）
合 計	197,086 円	

ウ その他活動

- 地域で暮らす上で、社会生活に必要な手続きの相談、買い物の送迎、通院の付添等

を行いました。

- 小諸市のほか、近隣3市町村からの利用者を受け入れており、小諸市全域と御代田町、佐久市の一部について、可能な限りで送迎を行いました。

(2) 就労継続支援B型事業

- 精神不調により就労的活動が不安定な利用者が多数在籍しており、無理のない生産活動とタブレット等を活用した日中支援活動を進めました。
- コロナ禍から復活した紙器加工作業の受注が大幅に増え、利用者工賃も大幅なアップとなりました。また、残材廃棄段ボールの売却収入も計上できました。

ア 生産活動

精神的安定をより重視し過度な負担や重圧とならないよう作業を進めました。

<作業内容>

区 分	作 業 内 容	備 考
加 工	紙器・ダンボール製品加工、菓子箱折作業、漬物製品ラベルシール貼り	受注量が増え増収
清 掃	県ハローアニマル、小諸市公衆トイレ(地域住民協働)	ATM廃止で減収

<作業収入及び工賃>

区 分	収 入 金 額	1人当たりの平均工賃月額
受託作業(加工)	1,559,765円	11,988円(前年度比93.8%)
受託作業(清掃)	166,538円	
合 計	1,726,303円	

イ その他

日常生活、社会生活、健康・余暇等支援、サービス利用促進については、多機能型事業所であるため生活介護事業と共通で行いました。

(3) 計画相談支援事業

根本的な赤字体質の事業に変わりなく、他事業(生介・就継B)からのサービス区分間で補填を行いました。

<計画相談支援実績>

計 画 相 談	85件	65件増加
モニタリング	255件	195件増加

2 運営管理

(1) 業務継続計画

研 修	4月5日	「感染について正しく知ろう」ビデオ研修
訓 練	8月26日	感染防止対策及び発生時の対応等を確認

(2) 身体拘束等の禁止

身体拘束事案	なし	
--------	----	--

※委員会、全体研修は法人で実施

(3) 秘密保持

秘 密 漏 洩	なし	
---------	----	--

※就業規則の守秘義務に加え、職員採用時に誓約書を徴取するとともに個人情報保護規程により適正に個人情報を管理

利用者契約時に個人情報使用・肖像許諾書を徴取の上、適正に情報管理
GIGA・Wi-Fi整備に伴い各種デバイス接続に係るセキュリティーを強化

(4) 苦情解決

苦情処理	なし	
------	----	--

(5) 事故発生時の対応

事故	1件	利用者送迎途中、ドアに手を挟み負傷 軽微打撲
インシデント	なし	

(6) 虐待防止

虐待事案	なし	
------	----	--

※委員会、全体研修は法人で実施

(7) 非常災害対策

第1回	6月28日	火災想定 避難訓練
第2回	1月24日	地震想定 緊急連絡網〔訓練〕確認

※朝礼時、人員数・所在確認と予定確認

(8) 地域との連携

行政機関等	小諸市（指定管理権者）、佐久圏域相談支援事業所協議会、小諸市事業所協議会、優先調達共同窓口、社会福祉協議会等	
福祉施設	居住(GP)、居宅(訪問)支援施設、圏域支援協議会 暮らしネット、画相談支援事業所等 高齢デイケア施設との交流 他	
医療機関	嘱託医:佐久長土呂クリニック、高原病院、小諸医療センター	
教育機関	市内中学生の福祉体験、高等学校福祉科生徒の体験授業、福祉求職者の職場体験を受入	
ボランティア	季節行事、外出活動、レクリエーション活動	

(9) 健康管理

- 家庭、生活拠点事業者等と連携し、看護・介護職員が日常の健康・衛生管理
- 医師とのコミュニケーションが困難な利用者には、職員が同行し対応
- 保健衛生に関する規定に基づき、保健衛生管理責任者を中心に、職員「流行性感染症対策マニュアル」を遵守し、健康チェックの常態化、職員スタッフによる高齢者施設等に準ずる日常的な衛生管理を実施

予防接種	利用者(任意接種)	職員(任意接種)
健康診断	利用者(任意受診)	職員(健保連、浅間HP)

(10) 衛生管理等

<発生状況>

感染症	3人	新型コロナ2名 インフル1名 施設内感染なし
食中毒	なし	

<委員会・研修・訓練実施状況>

感染症・食中毒対策委員会	5月、8月 11月、2月	感染症等の発生状況を踏まえ対応を検討
研修	4月	手洗い・手指消毒の手順の確認
訓練	8月	手洗い・手指消毒の手順の実践

(11) その他

- 指定管理者委員会によるサービス評価を実施し、小諸市ホームページ上で公表
- 小諸市の担当課、圏域支援センター等の紹介を利用。また、小諸市広報誌への掲載や圏域事業所紹介等を利用

資 料

令和7年3月31日現在

<利用者の状況>

1 年齢別数 (人)

事業名	性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代~	合計
生活介護	男		2	2	1			1	6
	女		1	1	1				3
	計		3	3	2			1	9
就労継続支援B型	男			3	2	1		1	7
	女			1	1	2		2	6
	計			4	3	3		3	13
合計	男		2	5	3	1		2	13
	女		1	2	2	2		2	9
	計	0	3	7	5	3		4	22

2 障害種別数 (人)

事業名	知的	身体	精神	視覚	聴覚	合計
生活介護	7(1)	1(1)	1			9
就労継続支援B型	10(1)	0	3(1)			13
合計	17	1	4			22

注) 括弧内は重複障害者数で内数

3 認定区分別数 (人)

事業名	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
生活介護				3	4	2	9
就労継続支援B型		2	6	2			10
合計		2	6	5	4	2	19

<職員の状況>

職種別数 (人)

事業名	管理者	サービス 管理 責任者	生活 支援員	職業 指導員	就労 支援員	相談 支援 専門員	看護師	送迎 専門員	合計
生活介護	(1)	(1)	3(1)				1		4(3)
就労継続支援B型	(1)	(1)	1	1					2(2)
計画相談支援	(1)					1			1(1)
合計	1	1	4	1		1	1		9

注) 括弧内は兼務者で外数

V Lサポート

- 1日当たりの平均利用人数は、生活介護事業は5.8人で前年を0.3人下回り、就労継続支援B型事業は13.9人で前年度を0.3人上回っている状況で、大きな変動はありませんでした。
- 就労支援事業収入が増加し、1人当たりの平均工賃月額が目標とした25,000円を上回り27,456円となり、昨年度の21,175円を大きく上回りました。
- 新型コロナ感染症については、7月と3月に利用者及び職員に感染者が出ており、3月には感染対策として2日間閉所しました。

1 提供したサービス

(1) 生活介護事業

ア 介護

- お花見、新緑、紅葉狩り、クリスマス、お楽しみ会など季節感のある行事を楽しみました。
- 施設外活動では、目的地の工夫、目先を変えた活動により、多様な経験を重ねる活動に取り組みました。
- 新たな活動への意欲を高めるため、雛飾り、鯉のぼり、クリスマスツリーなどを製作し、多くの方に見てもらえるよう展示スペースを設け作品を展示しました。
- 理学療法士による姿勢の矯正、補助具の工夫等の指導を受けました。(月1回)

イ 生産活動

就労継続支援B型事業の利用者が行う作業の中で、比較的容易で軽い作業を、一人ひとりの適正等に合わせて取り組めるようにしました。

<作業内容>

区 分	作 業 内 容	備 考
工 芸 品	布たわし	
資 源 回 収	牛乳パック、ペットボトルのキャップ分別・仕分け	各施設、洋菓子店、病院等からの回収
加 工	箱折り、水引正月飾り加工	ダンボールの折目付 干付け、乾燥剤入れ、袋詰め

<作業収入及び工賃>

区 分	収 入 金 額	一人当たりの平均工賃月額
自主製品販売(工芸品)	3,700円	996円(前年度比84.0%)
受託作業(資源回収)	8,245円	
受託作業(加工)	120,624円	
合 計	132,569円	

(2) 就労継続支援B型事業

- 東栄町事業所の利用者は片麻痺など身体障害の方が多く、軽微な作業が中心でした。
- きらら事業所では、企業からの受託作業が安定し、また、龍江地区農家への援農や下久堅地区での資源回収を継続することができました。
- 展覧会の見学、買い物、食事会での外出で日常生活に変化を付け、生活づくりに向かう意欲が一層高まるよう心掛けました。
- 利用者の特性に配慮し作業内容、作業工程を工夫するとともに、利用者の気持ちに寄り添うよう努め、充実感を得られるように心掛けました。

- 作業種を増やすことにより工賃アップを図りました。

<作業内容>

区 分	作 業 内 容	備 考
農 産 物 [き]	米販売、米、さつまいも、夏野菜栽培（自主事業） 柿採り、柿吊るし、にんにく植付け（受託作業）	下久堅地区農家からの依頼作業
工 芸 品 [き]	施餓鬼棒の製作	
加 工 [東][き]	水引袋入れ・シール貼り 段ボール組立・シール貼り	水引作業は大部分の利用者が関わり安定した収入を確保（東栄町）
廃品回収 [東][き]	古紙、アルミ缶、ペットボトルキャップ等	
喫 茶 [東]	軽食・飲物提供	飯田勤労者福祉センター内ふれあいサロン
清 掃 [東]	飯田市福祉会館さんとおびあ外回り	

注) [東]：東栄町事業所、[き]：きらら事業所

<作業収入及び工賃状況>

区 分	収 入 金 額	1人当たりの平均工賃月額
自主製品販売（農産物）	504,750 円	27,456 円（前年度比 130.0%）
自主製品販売（工芸品）	423,493 円	
受託作業（加工）	2,651,263 円	
受託作業（廃品回収）	266,421 円	
受託作業（喫茶）	1,761,432 円	
受託作業（清掃）	374,400 円	
合 計	5,981,759 円	

(3) 共同生活援助事業

- 健康面では、主治医に相談しながら早めの対応を心掛け、大きな病気になることなく生活ができました。
- 短期入所については、利用者4名、述べ135日受け入れました。

(4) 計画相談支援事業

(休止中)

2 運営管理

(1) 業務継続計画

研 修	9月5日(L 休)	地震発生時等における対応確認
訓 練	12月8日(GH)	地震発生時等における対応

(2) 身体拘束等の禁止

身体拘束事案	なし	
--------	----	--

※委員会、全体研修は法人で実施

(3) 秘密保持

秘密漏洩	なし	
------	----	--

※就業規則の守秘義務に加え、職員採用時に誓約書を徴取するとともに個人情報保護規程により適正に個人情報を管理

(4) 苦情解決

苦情処理	なし	
------	----	--

(5) 事故発生時の対応

事故	なし	
インシデント	なし	

(6) 虐待防止

虐待事案	なし	
------	----	--

※委員会、全体研修は、法人で実施

(7) 非常災害対策

第 1 回	9月 5日(Lサポート) 12月 8日(GH)	地震想定、避難訓練実施
第 2 回	3月 5日(Lサポート) 3月 26日(GH)	火災想定、消火・避難訓練実施

(8) 地域との連携

行政機関等	飯田市、飯伊圏域障害者総合支援センター（援助手法習得、利用者紹介依頼、相談支援専門員との情報共有・支援）	
連絡協議会	龍江地区・Lサポートきらら連絡協議会	

(9) 健康管理

予防接種	インフルエンザ	(任意接種)
健康診断	嘱託医療機関	実施なし

- 朝・昼、体温測定・健康観察、週1回看護師による血圧測定や健康相談
- グループホーム利用者については、服薬援助、血圧測定、脈拍、体温測定

(10) 衛生管理等

<発生状況>

感染症	5人	新型コロナ（利用者3人、職員2人）
食中毒	なし	

<委員会・研修・訓練実施状況>

感染症・食中毒 対策委員会	5月、7月 11月、3月	感染症等の発生状況を踏まえ対応検討
研 修	7月24日	感染症発生等状況、感染症対策
訓 練	11月22日	感染症対策、防護服の着用・外し方

(11) その他

- 共同生活援助事業（きららの郷）の指定更新を受けました。
(令和6年10月1日～令和12年9月30日)
- 生活介護・就労継続支援B型事業（Lサポート）の指定更新を受けました。
(令和7年4月1日～令和13年3月31日)

<利用者の状況>

1 年齢別数(サービス重複利用者あり) (人)

事業名	事業所名	性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 ~	合計
生活介護	東栄町事業所	男				1	3	2		6
		女			1	1	1	1	1	5
		計			1	2	4	3	1	11
就労継続支援B型	東栄町事業所	男			1	1		1		3
		女			1			2		3
		計			2	1		3		6
就労継続支援B型	きらら事業所	男		2	4	1	1	2	1	11
		女			2	1				3
		計		2	6	2	1	2	1	14
共同生活援助	きららの郷	男			1	1		2	1	5
		女			1	2			1	4
		計			2	3		2	2	9
合計		男		2	6	4	4	7	2	25
		女			5	4	1	3	2	15
		計		2	11	8	5	10	4	40

2 障害別数 (人) (障害の重複あり) (人)

事業所名	知的	身体	精神	視覚	聴覚	合計
東栄町事業所	10	6	1			17
きらら事業所	9	1	4			14
きららの郷	8	1				9
合計	27	8	5			40

3 認定区分別数 (人)

事業名	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
生活介護		1	3	4	2	1	11
就労継続支援B型		6	1	2			9
共同生活援助		4	1	3	1		9
合計		11	5	9	3	1	29

<職員の状況>

職種別数 (人)

事業名	管理者	施設長代理	サービス 管理者 責任者	生活 支援員	職業 指導員	看護師	世話人	合計
生活介護	(1)	(1)	(1)	3		1		4(3)
就労継続支援B型	(1)	(1)	(1)	1	6			7(3)
共同生活援助	(1)	(1)	(1)	1(1)			5	6(4)
相談支援	(1)			(1)				(2)
合計	1	1	1	5	6	1	5	20

注) 括弧内は兼務者数で外数

VI 小諸市福祉企業センター

- 福祉サービス事業所ならではの利用者の立場に立った相談支援や生活支援に努めました。
- 受託作業につきましては受託量が安定しない中、近隣企業の協力を得て、受託加工業務を継続実施するとともに、新規開拓にも取り組み、新たに防虫施工作業及び野菜の袋詰め作業を、企業と契約し仕事の確保に努力しました。
- 就労継続支援B型事業では、1日当たりの平均利用者人数が13.9人と前年度を0.3人下回りましたが、就労アセスメントが7件依頼される等の増収要因もあったことから、訓練等給付費収入は前年度と比較し2.1%増となりました。
- 生活保護授産事業では、1か月当たりの平均利用者人数が16.5人と前年度を1.5人下回ったことや事務費報酬単価が7%下がったことから減収となりました。
- イベントは、職員数が減ったことで販売活動は実施できませんでしたが、ポッチャ大会等に参加し、地域の人々とのふれあいの機会を作りました。
- 10月の研修旅行では歴史民俗資料館を視察した後、温泉に浸かり親睦を深めることができました。

1 提供したサービス

- 日々の生活を楽しみ、さらに生活意欲が向上することを大事に考え、季節を意識した各種行事に取り組みました。(七夕飾り、研修旅行、クリスマス会、節分豆まき、ひな祭り)
- 同じ日課を繰り返すことを大事にして、利用者の安定を図ってきました。通年、朝8時30分までに各自それぞれの方法で通所し、ラジオ体操、朝の作業、10時の休憩、午前の作業、昼食休憩、午後の作業、各自帰宅の流れを基本としています。
- 希望者には移動時の交通手段や手続きの方法、利用可能な施設などを紹介しました。

(1) 生活保護授産事業

- 利用者は、障害や病気などの課題を持っているとともに高齢の方が多いため、個々の適性や可能性を生かした作業を準備し、一人ひとり充実感を持って日々の生活を送れるよう努めました。
- 利用者の特性に配慮した作業内容となるよう作業工程を工夫し、一人ひとりの気持ちに寄り添うような関わりを持つ中で、活動を通して生活に充実感を得られるように心掛けました。
- 少しでも多くの工賃収入が平均的に得られるように、事業所内で調整しながら、各種の業務に取り組みました。

ア 生産活動

<作業内容>

区 分	作 業 内 容	備 考
加 工	パンフレット折り、封筒糊付け 段ボール型抜き、組立、箱折り、糊付け等 ベアリング製品のグリス塗り、梱包等工業製品 電線接続端子カバー取付け、ケーブル結束等電気部品 野菜の袋詰め作業 漬け物パック袋詰め、シール貼り、梱包作業等	

<作業状況及び工賃>

区 分	収 入 金 額	1人当たりの平均工賃月額
受託作業(加工)	2,996,034円	17,895円(前年比102.0%)

(2) 就労継続支援B型事業

- 利用者の障害の態様は一律ではないことから、個々の適性や可能性を生かした作業を準備し、一人ひとりが充実感を持って日々の生活を送れるよう努めました。
- 利用者の特性に配慮した作業内容、作業工程の工夫をし、一人ひとりの気持ちに寄り添うような関わりをする中で、活動そのもの、活動を通して構築される生活に、充実感を得られるように心掛けました。
- 少しでも多くの工賃収入が平均的に得られるように、事業所内で調整しながら、各種の業務に取り組みました。

<作業内容>

区 分	作 業 内 容	備 考
加 工	生活保護授産事業に同じ	
施 設 外 作 業	カメムシ防除作業	別荘・ホテル
自 主 製 品 販 売	サシェ	夢ハーベスト農場で販売

<作業収入及び工賃>

区 分	収 入 金 額(円)	1人当たりの平均工賃月額
受託作業(加工)	4,523,360円	26,706円(前年度比99.1%)
施設外作業	61,400円	
自主製品	21,600円	
合 計	4,606,360円	

(3) 就労移行支援事業

一般就労に必要な技術・知識を習得できるように訓練をし、5月に小諸市役所への就職が決まりました。その後、就労移行利用者はありません。

<就労アセスメント>

相 手 方	人 数	備 考
小諸養護学校	5人	
松本養護学校	1人	
うすだ分教室	1人	

2 運営管理

(1) 業務継続計画

研 修	4月1日	B C P災害編・感染症編の内容確認
訓 練	8月9日	地震及び土砂災害避難訓練
	10月28日	防災訓練

(2) 身体拘束等の禁止

身体拘束事案	なし	
研 修	1回	虐待と身体拘束の側面から

※委員会・研修は法人全体で実施

(3) 秘密保持等

秘 密 漏 洩	なし	
---------	----	--

(4) 苦情解決

苦 情 処 理	3件	利用者の臭いに係る苦情があり、当該利用者と話しをするとともに、市のケースワーカーにも相談 施設内階段一段目が分かり難く危険との申し出に対し、黄色の蛍光テープ貼付
---------	----	---

(5) 事故発生時の対応

事 故	なし	
-----	----	--

(6) 虐待防止

虐 待 事 案	なし	
研 修	2回	① 法人全体研修 ② 厚生労働省虐待防止動画視聴

※委員会・全体研修は法人で実施

(7) 非常災害対策

第 1 回	8月9日	地震を想定した避難訓練
第 2 回	10月28日	火災を想定した通報・消火・避難訓練

(8) 地域との連携

地 元 区	荒堀区 災害時における協力体制	
行 政 機 関	小諸市福祉事務所 各種福祉サービスの連携	
教 育 機 関	小諸養護学校から就労アセスメント受入れ	
連 絡 会	小諸市障害福祉サービス提供事業所連絡会に参加し佐久圏域の関係事業所と情報共有	

(9) 健康管理

健 康 管 理	血圧測定・健康相談	保健師が2ヶ月に1度で実施
健 康 診 断	健康スクリーニング	利用者半数実施

(10) 衛生管理等

<発生状況>

感 染 症	11人	夏期 コロナ感染3名 年末 コロナ感染8名 (小諸市報告)
食 中 毒	なし	

<委員会・研修・訓練実施状況>

感染症・食中毒 対策委員会	4月1日	感染症対策委員会について
	7月31日	新型コロナウイルス感染症 急増について
	9月3日	食中毒に係る課題の検討
	11月25日	厚生労働省からの通知
研 修	9月中	動画視聴 感染症について正しく知ろう
	1月中	動画視聴 佐久保健福祉事務所からの動画
訓 練	9月10日	机上訓練
	12月4日	手洗い方法及び嘔吐物処理方法

資 料

令和7年3月31日現在

<利用者の状況>

1 年齢別数 (人)

事業名	性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代~	合計
授産	男				1	2	7	1	11
	女				1	1	1	7	10
	計				2	3	8	8	21
就労継続支援B型	男		2	3	3	2	1	1	12
	女	1				1	3		5
	計	1	2	3	3	3	4	1	17
就労移行	男								
	女								
	計								
合計	男		2	3	4	4	8	2	23
	女	1			1	2	4	7	15
	計	1	2	3	5	6	12	9	38

2 障害者別数 (手帳非保有者を除く。) (人)

事業名	知的	身体	精神	視覚	聴覚	合計
授産	6	6				12
就労継続支援B型	10	2	5			17
就労移行						
合計	16	8	5			29

3 認定区分別人数 (人)

事業名	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
授産							
就労継続支援B型		3	4				7
就労移行							
合計		3	4				7

<職員の状況>

職種別数 (人)

事業名	管理者	サービス 管理者 責任者	生活 支援員	作業 指導員	職業 指導員	就労 支援員	合計
授産事業	(1)			3			3(1)
就労継続支援B型	(1)	(1)	(1)		2		2(3)
就労移行	(1)	(1)	(1)		(1)	1	1(4)
合計	1	1	1	3	2	1	9

注) 括弧内は兼務者数で外数